

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立西九条小学校

令和 7 年 4 月

大阪市立西九条小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- いじめ⇒R6 認知件数は 157 件。根気よく聞き取り 100% 解消している。市いじめ対策基本方針の徹底。
- 不登校⇒R6 は 4 名。うち 2 名は改善の兆候あり。学校の枠を超えた諸機関と連携した対応の継続。
- 暴力行為⇒対教師及び児童間はない。「学校安心ルール」の効果的な活用。
- 防災・減災教育⇒約 9 割の児童が知識を習得。訓練内容の工夫によるマンネリ化の打破。
- 全国学テ⇒昨年は市平均、全国平均を大きく上回る。基礎学力の定着が不十分な児童との 2 極化。
- 学力経年調査⇒全学年(3～6 年)実施については、標準化得点を上回る学年や教科あり。
- 体力・運動能力(5 年)⇒市及び全国を下回る。外遊びの充実を図る。
- ICT の活用⇒プログラミングや発表ツールの活用、調べ学習等の効果的な取組みは推進された。スキルも向上。
- 働き方改革⇒職務の分担が推進され長時間労働は改善傾向。持ち帰り業務でやりくりし、多忙感は常にある。

中期目標(概ね令和 7 年度末までに達成をめざす成果目標)**【安全・安心な教育の推進】**

- 学力経年調査の「学校のきまり・規範を守っていますか」について、「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える児童の割合を 95% 以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 学力経年調査で、実施する全学年において、すべての教科で大阪市標準化得点を上回るようにする。
- 体力・運動能力(3・4 年)調査で、体力合計点を男女とも全国並にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において学習者用端末を毎日使用した児童の割合を 100% にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標 (全市共通目標を含む)

【安全・安心な教育の推進】**全市共通目標 (小学校)**

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90% 以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校の年度目標

- ① 学校アンケートにおける「地震や火災、不審者が現れたとき、どのような行動をとればよいかを知っている」について、肯定的な回答を 97% 以上にする。(令和 6 年度：95.9%)
- ② 学級や学年、異学年での主体的な楽しい集会活動や児童会活動、交流会を実施することにより、学校アンケートにおける「学校へ行くのが楽しいと思う」の肯定的な回答を 87% 以上にする。(令和 6 年度：85.1%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】**全市共通目標 (小学校)**

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 40% 以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70% 以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を男女ともに 70% 以上にする。

学校の年度目標

- ① 学校アンケートにおける「体育の時間や休み時間には進んで体を動かしている」について、肯定的な回答を 80% 以上にする。(令和 6 年度：76.1%)
- ② 学力経年調査において、3 年～6 年いずれも大阪市標準化得点を上回るようにする。

【学びを支える教育環境の充実】**全市共通目標 (小学校)**

- 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 70% 以上にする。
- 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 85% 以上にする。

学校の年度目標

- ① 学習者用端末を活用した授業や家庭学習を毎日実施する。
- ② ゆとりの日を週に 1 回設定・実施し、月の残業時間 45 時間以上の教職員の割合を前年度より減少させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立西九条小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>※ 前年度不登校であった児童のうち不登校の状態が解消された、または不登校状態であっても次の 1～3 に該当しているなど、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握</p> <p>※ 改善とは、次の状態の場合をいう。(複数に該当する場合は、最も顕著な項目を選択する)</p> <p>1 出席日数の増(学校内外で ICT 等を活用した学習活動を行うことによる出席認定含む)</p> <p>2 ICT の活用による、本人・保護者と学校がつながる回数が増えた。</p> <p>3 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 学校アンケートにおける「地震や火災、不審者が現れたとき、どのような行動をとればよいかを知っている」について、肯定的な回答を 97%以上にする。(令和 6 年度: 95.5%)</p> <p>② 学級や学年、異学年での主体的な楽しい集会活動や児童会活動、交流会を実施することにより、学校アンケートにおける「学校へ行くのが楽しいと思う」の肯定的な回答を 87%以上にする。(令和 6 年度: 85.1%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <p>盲導犬、点字についての学習やアイマスク、車いす体験、パラスポーツなどの体験を通して、ちがいに気づき、そのちがいを認め合い、互いのちがいが学校や社会の豊かさにつながることを理解する。</p> <p style="text-align: right;">(いじめへの対応・人権を尊重する教育の推進・インクルーシブ教育の推進)</p> <p>指標</p> <p>手話や点字についての学習や車いす、アイマスク、パラスポーツなどの体験を行う。</p>	
<p>取組内容② 【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>南海地震を想定した防災計画を立て、実践的な避難訓練を実施したり、不審者侵入や交通事故を想定した体験的な防犯訓練や交通安全学習を行ったりしながら、命と安全を守るための主体的な行動ができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">(防災・減災教育の推進・安全教育の推進)</p> <p>指標</p> <p>区役所や警察署と連携した防災計画の策定や、防災訓練及び交通安全教育を実施する。</p>	
<p>取組内容③ 【基本的な方向 1 安全・安心な教育活動の実現】</p> <p>学級や学年、異学年での児童の主体的な集会活動や児童会活動、学校行事、交流会を実施し、児童の自己肯定感や自己有用感を高め、安全で楽しい学校生活が送れるようにする。</p> <p style="text-align: right;">(いじめへの対応・不登校への対応)</p> <p>指標</p> <p>学校評価アンケート「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を40%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 校内アンケートにおける「体育の時間や休み時間には進んで体を動かしている」について、肯定的な回答を80%以上にする。（令和6年度：76.1%）</p> <p>② 学力経年調査において、3年～6年いずれも大阪市標準化得点を上回るようにする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立西九条小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標(小学校) 【ICTの活用】 ○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。 【職員の働き方改革】 ○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を85%以上にする。 学校の年度目標 ①学習者用端末を活用した授業や家庭学習を毎日実施する。 ②ゆとりの日を週に1回以上設定・実施し、月の残業時間45時間以上の教職員の割合を前年度より減少させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【基本的な方向6 教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 1人1台の学習者用端末を効果的に用いて、多様な子どもの個性や状況に応じた学びを推進する。 プログラミング教材等の機器を活用し、複雑な情報を論理的に読み解く力や、「プログラミング的思考」の育成を目指す。 <div style="text-align: right;">(ICTを活用した教育の推進)</div> <hr/> 指標 ・学習者用端末を活用した授業や家庭学習を毎日実施する。 ・発達段階に合わせたICTカリキュラムの中で、プログラミング授業を全学年で実施する。	
取組内容② 【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 1カ月の時間外勤務時間が45時間を超えないように、管理職が職員の時間外勤務時間の状況を把握し、適切な措置ができるようにする。 <div style="text-align: right;">(働き方改革の推進)</div> <hr/> 指標 1カ月の時間外勤務時間が45時間を超える職員を2割以下にする。	
取組内容③ 【基本的な方向8 生涯学習の支援】 図書館主任と学校司書が連携を深め、学校図書館が読書の推進だけでなく、教科学習及び全ての教育活動で効果的に活用できるようにする。 <div style="text-align: right;">(「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組)</div> <hr/> 指標 OneBook選定の取り組み、読書貯金通帳、おすすめの本の掲示などの読書を支える活動や、読書ボランティアと連携した各学級年間20回の読み聞かせの実施、並びに新聞を活用した調べ学習等の推進を図る。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	